

企業名： ジーエス・ユアサ コーポレーション

レポート名： GS ユアサレポート 2021

1. この会社が目指す姿が理解できるか

トップシェアを誇る鉛蓄電池事業のさらなる収益拡大と、成長のためのリチウムイオン電池への先行投資の二つを軸にしていることで、経営の方針がわかりやすい。そしてそれに付随して、SDGs やカーボンニュートラルへの取り組みも詳しく紹介されていた。二次電池である鉛蓄電池やリチウムイオン電池がそもそも環境にいい電池であるので、全体として矛盾がなくまとまりが良いと思った。企業理念である「革新と成長」や環境に配慮する姿勢が感じられた。

2. この会社の競争優位性が理解できるか

鉛蓄電池がこの会社の基盤であり、日本だけでなく海外でもトップシェアを獲得しているということが視覚的にすぐにわかる。また、鉛蓄電池を軸に据えて、新たにリチウムイオン電池事業への先行投資を行っている。財務のハイライトと合わせて、非財務ハイライトとして CO2 排出量や事故発生件数の少なさなどが紹介されていて好感が持てた。クリーンエネルギーの普及に貢献してきていて、これからの社会にはずっと必要な会社だと思えた。

3. その競争優位性に持続性があるかどうか理解できるか

鉛蓄電池は新車用だけでなく点検や整備で交換されるので、永続的な需要がある。十分高いシェアを獲得している鉛蓄電池事業でも、現状を鑑みて詳細な計画が記載されていて、安定性とさらなる成長性を感じられた。先行投資を積極的に行っているリチウムイオン電池事業は、戦略が詳細にわかり、鉛蓄電池の現状に満足せずに成長を目指す姿勢がうかがえた。これからは持続可能なエネルギーの存在が重要になってくるので、再生可能エネルギーに利用できる電池の開発などで、高まる需要にこたえていくことができると思う。

4. この会社で自身の人的資本の価値向上を達成できると思うか

女性も活躍できる会社を目指していることはわかった。しかし、人材開発に関して割り振られたページは1ページだけであり、自分がジーエス・ユアサに入ったときに具体

的にどうやって人的資本の価値を向上させていくのかをイメージするのは難しいと思った。もっと人材育成で大切にしていることや過程が詳しくわかると、この会社で働いたときに自分がどう成長できるか想像できると思う。

5. 報告書にはどのような改善余地があるか

私はまだジーエス・ユアサという会社の存在自体知らなかったが、そんな私でもこの会社の事業について簡単に理解することができた。さらっと眺めただけでもそのページの要点が読み取りやすく、とても分かりやすくまとまっていていいと思った。

改善の余地があるとすれば、人材開発についてもっと詳しく情報があってもいいと思った。具体的には研修の様子や社内でのコミュニケーションの様子があればどのように人材を育てているのかわかりやすいと思う。